

公募案内（助教）

所属	環境・社会理工院 融合理工学系
職名	助教
人数	1名
専門分野	融合理工学に関連する分野，特にコミュニケーション／言語学／記号論／翻訳学。具体的には，メディアとコミュニケーション，機械翻訳，科学技術コミュニケーション，科学とアート／デザインなどを含む。
職務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 融合理工学分野の研究，教育および教務関係の職務を担当できること。 ・ 学士課程の科目を単独または共同で担当できること。 ・ 融合理工学系国際人材育成プログラム(GSEP)に関連する活動に関与できること。 ・ 学部または大学院の学生の論文指導を融合理工学系の教員と共同で行うとともに，共同研究を同系の教員とともに実施できること。
応募資格	<ul style="list-style-type: none"> ・ 融合理工学系のビジョンや教育理念を深く理解していること。 ・ 英語で科目の担当ならびに学生を指導する能力を有すること。 ・ 博士の学位もしくはそれに相当する能力を有すること。
勤務予定地	大岡山キャンパス（最寄り駅：大岡山）
勤務時間等	裁量労働制（みなし勤務時間：1日7時間45分，週38時間45分）
任期	任期有り：5年以内（再任1回：5年以内）
試用期間	6ヶ月
給与	<p>新年俸制導入前：月給制（本学職員賃金規則による。）</p> <p>新年俸制導入後：新年俸制へ切り替え</p> <p>※文科省作成の「国立大学法人等人事給与マネジメント改革に関するガイドライン」に基づき，本学の新年俸制を整備予定。</p> <p>※他の国立大学法人等において「年俸制」を適用されていた者（承継職員）は，現行の「年俸制」（本学年俸制適用職員賃金規則による。）を適用することとする。</p>
社会保険等	厚生年金，共済（短期），雇用保険，労災保険
雇用主	国立大学法人東京工業大学長
着任予定	令和3年4月1日
応募締切	令和2年11月6日（金曜日）必着
選考方法	書類審査ならびに面接 書類選考の後，大学キャンパス内あるいはオンラインでの面接，セミナー等をお願いする場合があります。面接等に伴う旅費等の経費は自己負担でお願いします。

<p>応募書類</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 略歴調書（高卒以上の学歴，職歴，受賞歴，電子メールアドレス） 2. 業績調書：①学術論文（査読有），②国際会議論文，③総説・解説，④著書，⑤特許，等に分類／基調講演や招待講演は明記／学術論文と国際会議論文の被引用数（Citation）とそれらをまとめたh指数（h-Index）を，使用したデータベース名*とともに付記 *Google Scholar Citations, Scopus, または Inspire 3. 主要原著論文別刷り3編以内（コピー可） 4. 競争的研究資金及び外部研究資金の獲得実績（科学研究費補助金，受託研究費，その他の競争的資金に分類／名称，課題名，研究期間，総額，代表・分担，分担額（研究代表者でない場合は明記）） 5. 研究に関する実績ならびに着任後の研究構想（書式任意，A4用紙2ページ） 6. 教育に関する実績および着任後の抱負（書式任意，A4用紙2ページ） 7. 社会活動（学会活動における役職を含む）に関する実績 8. 参考意見を伺える方（2名）の氏名，所属，および連絡先 9. 応募者情報一覧：リンクよりダウンロードした Excel ファイル様式に記入したもの（応募者情報ファイル）
<p>書類提出方法</p>	<p>提出書類は印刷版（1部）に加えて，電子データ（PDF）をCD-ROM ディスクあるいはUSBメモリに入れて，封筒に「融合理工学系助教 選考委員会宛」と朱書きした上，簡易書留にて送付して下さい。応募書類の1～8は一つのPDFファイルにし，9のExcelファイルと共に電子メディアに保存して下さい。</p> <p>Email等での受け付けはしていません。</p>
<p>書類送付先</p>	<p>〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1 i4-21 東京工業大学融合理工学系事務室</p>
<p>問合せ先</p>	<p>所属：環境・社会理工学院融合理工学系 氏名：教授 花岡伸也 連絡先 E-mail：hanaoka[at]ide.titech.ac.jp（[at]を@に置き変えてください）</p>
<p>その他</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 応募書類等の返却はしません。応募書類に含まれる個人情報は国立大学法人東京工業大学の定めに従い，本人事選考にのみ使用し，他の目的には一切使用しません。 (2) 東京工業大学では，多彩な人材を確保し，大学力・組織力を高めるため，全ての研究分野において外国人や女性の参画する均等な機会を確保します。 (3) 敷地内禁煙（ただし，屋外指定箇所に喫煙場所設置） (4) 融合理工学系や地球環境共創コースのビジョンや教育理念は，次のリンクを参照してください（https://educ.titech.ac.jp/tse/）。また，

融合理工学系国際人材育成プログラム(GSEP)については、次のリンクを参照してください (<http://www.tse.ens.titech.ac.jp/~gsep/>)。

(5) その他公募に関する事項は下記ページをご参照ください。

<http://www.hyoka.koho.titech.ac.jp/eprd/recently/koubo/koubo.php>